

学校教育目標:未来を切り拓く、たくましい子どもの育成

～未(未)来にむかって、(心)かまとともに、(心)んなで、(心)んばり、(心)もいやりをもち、(心)しく生きる子～

南が丘小学校だより(第2号)



津市立南が丘小学校
令和5年4月13日

4月6日の始業式に子どもたちに私から話をした内容について、ダイジェスト版として、以下に掲載します。ご家庭でも歩調を合わせていただけると幸いです。

教室はまちがうところだ！！

これから授業が本格的に始まります。どの教員もさあ授業に力を入れていこうという時期です。授業で悩むことの一つに、発言が特定の子に限られ、自由に活発な意見が出にくいということをおける学級もあるでしょう。それには、いろいろな手立てがありますが、子どもたちの発言に対するモチベーションを上げることも必要だと思います。そこで、知る人ぞ知る古典的な名詩「教室はまちがうところだ」という詩を、ご紹介します。本当はもっと長い詩なのですが、いくつかの連を省略して載せておきます。時々、この詩を時々音読するのもよいかもしれませんね。作者は、蒔田晋時さん。元教員です。

教室はまちがうところだ 蒔田晋時
みんながどしどし手をあげて
まちがった意見を言おうじゃないか
まちがった答えを言おうじゃないか
まちがうことをおそれちゃいけない
まちがうことをわらっちゃいけない
まちがった意見も まちがった答えも
あじやないか ーじやないかと
みんなで出し合い 言い合うなかで
ほんとのものをみつけていくのだ
そうしてみんなで伸びていくのだ

神様でさえまちがう世の中
ましてこれからの人間になろうとしている
ぼくらがまちがってなにかがおかしい
あたりまえじゃないか
安心して手をあげろ
安心してまちがえや
まちがったつて わらったり
まかにしたり おこったり
そんなもの おりゃあせん
まちがったつて だれかが
なおしてくれるし 教えてくれる
こまった時には先生が
ない知恵しぼって 教えるぞで
そんな教室つくろうや

「聞く」から「聴く」へ！！

本年度は各教科や様々な活動の中で、「聴き合う」ことを大切にしていきたいと考えています。各学年の発達段階に応じて、「聴き合う」とはどういう状態なのかを、教員と子どもが一緒になって相談し、共有していく予定ですが、その前に私から、以下の話をしました。

「聞く」は、「物音を聞く」「話し声が聞こえる」のように、音や声などが自然に耳に入ってくることを言います。

「聴く」は、「耳」、「目」、「心」という漢字が使われています。つまり、「聴く」は、話している人の方を見る、そして、うなずきながら耳を傾ける、さらに、どんなことを伝えようとしているのかを、心の中で考えながら 聴くということです。

こちらの聴き方で人の話を聴くと、自分の考えもまとまりやすくなり、誰かにお話することも得意になります。

マスクの着用について

ご承知のとおり、4月からマスク着用についての考え方が変わったところです。あらためて私から、以下のように話しました。

この3年間、コロナ感染対策としてマスクをつけてきましたが、本年度からは基本的にしなくてもよいことになりました。

でも、みなさんの中には、感染が不安、感染すると心配な家族がいるなどという理由からマスクをつけたい人もいます。中には長い間マスクをつけてきたので、マスクを外すことが嫌だという人もいるかもしれません。

どのような理由であれ、一人ひとりの気持ちを大切にしたいと考えていますし、みなさんも、周りの人の気持ちを大切にしてほしいです。

このことはマスクのことだけでなく、いろいろな心配事、困ったことなどは、誰かに相談できたり、みんなで解決する方法を考えたりできる関係をつくり、みんなが安心できる学校にしたいと考えています。

6年生がんばっています！！

6年生は、1年生の登校時の迎えや朝の準備のサポートなど、学校の顔として頑張ってくれています。10日には歓迎のための対面式の準備や運営も頑張っていました。すばらしい6年生です。ご家庭でも応援をお願いします。

《対面式》

